

シクロデキストリンを徹底追求  
「 $\alpha$ -オリゴ糖」、"小型LDLの抑制"で機能性表示準備  
シクロケム

神戸に本社を構える(株)シクロケム(神戸本社:神戸市中央区/東京本社:東京都中央区)は、2002年に設立すると同時にシクロデキストリン応用ラボも開設し、様々なシクロデキストリン包接体製品や技術開発、及びビジネス開発を手掛けている。社名「シクロケム(Cyclo Chem)」の由来は、Cyclic Chemistry(サイクリックケミストリー、「環」の化学)にある。

・同社では、CoQ<sub>10</sub>やR体のリポ酸、クルクミンなどを $\gamma$ -CDで包接し、吸収性を高めた「シクロデキストリン包接体」シリーズや、シクロデキストリンと組み合わせることで、優れた機能性を付与した「 $\alpha$ オリゴパウダー」など、シクロデキストリンの特性を活かした付加価値素材を多数ラインアップする。



機能性表示食品を照準にした製品開発にも着手。今年に入り、グループ会社の(株)コサナを通じて機能表示食品『難消化性 $\alpha$ (アルファ)オリゴ糖』(届出番号:D507)が受理された。表示内容は「 $\alpha$ -シクロデキストリンは食後の血糖値上昇を抑えることが報告されています。本品は食後の血糖値上昇を抑えたい方に適しています」。昨年4月から対象に加わった「糖質・糖類」カテゴリーで初の受理となった。1日あたり摂取目安量は5g。砂糖を摂取した後の血糖値の上昇抑制効果も期待できる。また、『難消化性 $\alpha$ (アルファ)-オリゴ糖』に、動脈硬化などの危険因子に深く関与している小型LDLの低減効果があることをヒト臨床試験で明らかにした。「食品開発展2019」で研究成果を報告し、来場者の関心を惹いていた。

兵庫県・健康産業企業マップ



同社では機能性表示食品の届出準備を進めていく。